

25.25.GP

スプリントレース形式走行会

特別規則書

2025年1月30日 改定

本レースでは『レースを始めてみたい』そんなライダー達を積極的に受け入れております。レースを通して「レースの楽しみ方を知りたい!」「速いライダーとなり憧れられるような存在になりたい!」など、皆様がそんな第一歩を踏み出すためのレースにしていきたいと思っております。

そのためには…皆様の【安全に対する意識とモラル】がとても重要だと考えております。大会事務局一同、最大限努めてまいりますので、エントラントの皆様のご理解・ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

【総則】

1条 開催競技会／大会事務局

主催／株式会社 WITH ME 東京都足立区鹿浜 7-11-3 03-5838-7397

会場／袖ヶ浦フォレストレースウェイ

2条 大会概要

形式／8周スプリントレース(各クラス混走)

※2025年は全5戦を予定しております。

開催日／ 第1戦 2025年3月16日(日)

第2戦 2025年4月20日(日)

※マル耐併催

第3戦 2025年6月15日(日)

第4戦 2025年8月31日(日)

第5戦 2025年10月6日(日)

※マル耐併催

エントリー締切りは開催日の**20日前**とします。

3条 開催クラス／(F3及びC30クラスを除くクラスの排気量は250cc未満の4ストローク車)

C/Sツイン(チャレンジ・スポーツ)

1'25 秒未満の2気筒エンジン搭載車

G/Bツイン(ジェントル・ビギナー)

1'30 秒未満の2気筒エンジン搭載車

シングル

1'30 秒未満の単気筒エンジン搭載車

ZX-25Rチャレンジ

1'30 秒未満のZX-25Rのみ

F3(エフ スリー)

1'30 秒未満の8条の「■F3…」より規定された車両

C30(チャレンジ サーティ)

1'30 秒以上で8条より規定された車両全て

クラス区分は…

1. G/Bツインクラス参戦者は、フリー走行兼予選のセッションを通して、基準タイムをより速いラップが1周でもあった場合には、自動的にC/Sツインクラスへ昇格とする。
2. C30クラスも同様に、1分30秒未満のタイムを記録した場合は自動的に車両に準ずる各クラスへ昇格とする。
3. エントリー時に申請するクラスは、ご自身のタイムと車両のクラスからお選びください。



4条 参加資格／ライセンス区分

1. ライダー
 - ・過去サーキット走行が(走行会など含め)1回以上あること。
 - ・当日のブリーフィングに参加すること。
 - ・レギュレーションを熟読し、理解することができること。
2. PITクルー
 - ・パドックマナーを守り、他人に迷惑をかけないこと。
 - ・レギュレーションを熟読し、理解することができること。
3. ライセンス区分
 - ・本レースでは設けない。

5条 エントリー／参加費

1. 2条の各開催日に合わせWITH MEのHPより申し込みを行うこと。
2. 申し込み後、1週間以内のエントリー費の入金が無かった場合、受付は無効となる。
3. 参加費については下記の通り定める。

参加費用:¥25,000-

※エントリー締切り後の情報変更には変更手数料として¥10,000-を頂戴します。

4. クルーなどのエントラントの入場料については、マル耐と併催する場合において、入場ゲートにてチーム人数のチェックを行います。1名のエントリーにつき、エントリー者を含む3名の入場が可能です。4名を超える場合は、お一人につき【大人 1,500円／中高生 750円／小学生以下 無料】の料金で入場パスをお求め頂けます。ぜひ、ご利用ください。
5. お支払い方法
 - 【銀行振込先】／みずほ銀行 葛飾支店 普通 1711628 マルヤマヒロシ
 - 【クレジット決済】／HP内「参加費支払い」ページからお手続きください。
 - ▼参加費支払いページ URL

<https://www.withme-racing.com/soukoukai2/25gp/payment.html>

6条 参加定員

1. 37台をフルグリッドとする。
2. 申込の優先順位は、入金日をベースに反映する。



7条 参加受理／キャンセル

1. WEBからのエントリー申し込みを確認でき、尚且つ参加費の入金が事務局にて確認された時点でエントリーの正式受理となる。
2. キャンセル申請は開催日の10日前までを期限とさせていただきます。
<https://www.withme-racing.com/soukoukai2/entryform/cancel/form.htm>
3. キャンセルの際にはお預かりしている参加費から事務手数料5,000円を差し引いた金額のご返金となります。(銀行振込のみ)
4. キャンセル申請の期限を過ぎてからのキャンセルはいかなる理由があっても参加費の返還は認められません。

8条 参加車両／選手装備

指定参戦車両は下記の通り定める

■HONDA

CBR250R(MC41)/CBR250RR(MC51)/VTR250/VT250スパーダ/FTR/VT250F/
XELVIS/レブル/GB350(S) ※250cc単気筒として扱う

■YAMAHA

YZF-R25/MT-25/セロー/XT250X/トリッカー/YZF-R3 ※250cc二気筒として扱う

■Kawasaki

Ninja250(R)/Ninja250SL/Z250/Z250SL/ZZR250/Ninja ZX-25R/スーパーシェルパ

■SUZUKI

GSX250R/GSR250(S・F)/ST250/グラストラッカー/Goose250

■KTM

RC250(200)/DUKE250(200)/RC390 ※250cc二気筒として扱う/
390DUKE ※250cc 二気筒として扱う

■Megelli

250R/250S

上記に記載されていないものでも『4ストローク250cc未満の単気筒もしくは2気筒の車両』に関して、エントリーを認める場合がございます。

上記以外の車両での参戦をご希望の方は2525GP事務局(event@withme-racing.com)までお問い合わせください。

■F3クラスの対象車両は、排気量により選定する。

1. 4ストロークエンジン車両/250cc以上 ~ 400cc未満
2. 2ストロークエンジン車両/250cc未満

■車両に関する要件を下記の通り定める。

1. 走行音量規定(サーキット敷地境界線で95dB以下・袖ヶ浦フォレストレースウェイスポーツ走行規定に則る)に抵触しないこと。
2. ゼッケンは、エントリー時に必ず第一希望～第三希望の番号を申請し、各自が用意する事とする。(前面・右側面の2枚 又は 前面・両側面の3枚)
3. 申請したゼッケンの番号が他参加者と被った場合には「6条の2」より優先順を決め、第二・第三希望へと変更するものとする。
4. 原動機形式の変更を行わないこと。
5. 原動機の排気量変更を行わないこと。

■ライダー装備及び規定は下記表記の通りとする。

1. フルフェイスヘルメットとする。(コース内走行中はシールドを閉めること。)
2. 革製もしくは同等素材のレーシングスーツ(セパレートタイプの場合はファスナー付きで連結できるものに限る。)
3. レーシンググローブ(手首まで覆う革製もしくは同等素材のもの)
4. レーシングブーツ(ふくらはぎまで覆う革製もしくは同等素材のもの)
5. いずれの装備もMFJ公認アイテムを強く推奨する。
6. カメラ及びビンカムなどはヘルメットや身体から外すこととする。ただし、脱落防止に努めた上でカメラを車体に取り付けは可とする。※11条 車載カメラの使用を参照。

9条 参加受付

1. エントリーを受理されたライダーは公式スケジュールに記された時間内に下記の書類を提出して参加受付を行い、出場資格の確認を受ける必要がある。

エントリーシート 兼 防火に関する誓約書

2. 参加受付時間に間に合わなかった者は、主催者審議の上で参加が拒否される場合があります。参加が拒否された場合の参加費の返還は行わないものとする。

PIT・パドックの使用

1. PITはマル耐・走行会参加者と共有とし、PIT 割は主催者が決定する。
2. PIT・パドックの使用規定は走行会及び大会のルールに準ずる。
3. 移動用としての自転車の使用に制限は設けないが、パドック内での安全管理は各チームで責任をもって行うこと。パドック内で起きた事故や傷害、盗難等に関し主催者は一切の責任を負わない。

11条 車載カメラの使用

1. 営利目的の積載の場合には有料とし、主催者との事前協議を要する。
2. 抗議資料としての利用は一切禁止とする。
3. カメラを取り付ける場合には脱落防止に努め、脱落をさせないこと。

※これらの規則に違反した場合今大会の競技結果を無効とし、罰則が科せられることがある。

12条 ブリーフィング

参加ライダー本人が必ずブリーフィングに参加すること。

ブリーフィングへの出席が確認できない場合には本戦への参加は認めない。

13条 練習用フリー走行 及び フリー走行兼予選

1. 参加者は練習用フリー走行15分×1本を走行することができます。練習用フリー走行は計測しますが計測結果は順位やポイントには一切反映されない。
2. フリー走行兼予選を走行する場合には、必ず計測器を使用すること。タイム計測を行えない場合は決勝への参加資格を失う場合がある。
3. フリー走行兼予選は15分×1本とし、コースオープンから5分間は計測を行わない。コースオープンより5分経過後、メインポストからのグリーンフラッグ提示とともに計測を開始する。
4. フリー走行兼予選の計測結果より総合ベストラップ順で決勝スターティンググリッドを決定する。
5. F3クラスの対象車両は、クラスに関係なく決勝のスタートグリッドは、最後尾からのスタートとする。また、F3クラスの対象車両同士の決勝スタートグリッド順は計測時の総合ベストラップ順位で決定する。(今後、タイム差によりハンディキャップスタートを検討中)
6. フリー走行兼予選の計測結果からエントリー時の申請クラスから下位のクラスへ降格はしないものとする。

14条 決勝レース

1. 決勝レースは、グリッド上からのクラッチスタートとする。
2. 決勝スターティンググリッド
 - ・グリッド列ごとの台数配分は2・2・2・・・の階段式とする。
 - ・ポールポジションは進行方向左側の最前列とする。
 - ・決勝スターティンググリッドはフリー走行兼予選の終了後、計測結果を整理した後に発表する。
3. 決勝時のコース入りからスタートまで手順に関しては公式通知【決勝前進行】を確認すること。
4. 決勝レース中のタイムがクラスの基準タイムを下回った場合、上位クラスへ昇格はしないものとする。
5. 決勝レースの計測結果から下位クラスへ降格はしないものとする。

15条 ペナルティ

1. ペナルティの対象は下記の通りとなる。

- (ア) ホワイトラインカット違反(2輪用)
- (イ) フラッグ違反(セーフティーカー違反も含む)
- (ウ) ピット速度違反
- (エ) 音量規定違反
- (オ) 装備規定違反
- (カ) 他車との接触 及び 他車への妨害行為を含む危険な行為全般
- (キ) その他、当書並びに公式通知に定める事項に反する行為全般

2. 競技役員により違反が確認された場合、審判長から以下の処分を下すこととします。

① ピットストップ

ピットストップの場合は走行中の車両に対してオレンジボールフラッグが提示されます。オレンジボールを受けたドライバーは速やかにピットインの上、ピットロード前方の始動エリアに赴き、違反内容を競技役員から確認して下さい。

② 罰金

罰金の指示を受けたチームの代表はレース終了後、当日までに競技委員長に支払うこととします。

- (ア) 罰金の金額について
- (イ) 『ホワイトラインカット違反・フラッグ違反』が1万円。
- (ウ) 『ピット速度違反・音量規定違反・装備規定違反』が5千円
- (エ) 『他車との接触 及び 他社への妨害行為を含む危険な行為全般』が5千円
- (オ) 『その他、当書並びに公式通知に定める事項に反する行為全般』が5千円

● 車両接触に関するペナルティ

車両の接触においては、いかなる場合においても接触した全ての車両に対してチャンピオンシップポイントは付与されない。ペナルティの執行は車両接触に関わったライダーのうち最低1名からの申請又は申告があり、該当車両の損傷部位が確認された場合と致します。

● 赤旗に関するペナルティ

前項同じく、赤旗・レース中断の原因となったすべて車両はチャンピオンシップポイントが付与されない。

接触・赤旗ペナルティに関する補足

前2項のペナルティの設定は、とにかく参加者に損害が出来るだけ出ないよう、無闇に走行時間が削られてしまうことの無いようにと設定致しました。ルールは勿論、マナーやセオリーは大切ですが、上級者の方は、当イベントが入門向けであること、並びに入門向けであり続けることをご理解ください。初心者の方は、視野を広く保てる冷静さを、このイベントを通して身につけてください。参加者が皆お互いに尊重しあえるイベントになればと願っております。

16条 ピットロード速度制限について

ピットロードは40km/h制限とします。例え、40km/h以下で走行していたとしてもピットには大勢人がいますので、周囲に充分気を配って走行して下さい。

※ピットロード入口では、一時停止のパイロンがある場合とない場合があります。一時停止パイロンがある場合は一時停止。ない場合には一時停止は不要です。しかし、上記で規定している通りにスピードを十分に落とし、周りに注意しながら侵入しましょう。

17条 競技終了

1. 決勝レースはトップのライダーが決勝レース8周を終了する時点で、メインポストからチェッカーフラッグが提示される。以後各車コントロールライン通過時点で競技終了とする。競技終了後の追い越しは禁止とし、各ポストでイエローフラッグ掲示される。
2. 天候、その他の理由により、周回数を短縮しレースを終了する場合がある。

18条 レースの中断とレースの再スタート

赤旗中断からのレーススタートについては、コースコンディションの復帰に伴い速やかに下記のルールに従い再スタートの進行を行う。尚、レース周回数5周目以降の赤旗はその時点で競技成立、レース中断前の周回数とコントロールライン通過順で順位を決定する。

1. レース中断中にPITに戻った際はマシンの修理、給油を可能とする。(給油エリアの指定がある場合はエリア内での給油を行うものとする)
2. クラッシュ、コースアウトした車両の再スタートは必ずスタッフの認可を受けること。
3. グリッド順はレース周回数2周未満の場合、決勝スタート時のグリッド順に戻すこととする。
レース周回数3周以上を消化後の再スタートはレース中断前の最終順位を反映することとする。
4. 再スタートの手順は決勝進行の公式通知に従い、サイティングラップから再開、1分間ピットレーン出口が解放される。

そして、コース上の全車がグリッドについた事を確認後1分前ボードが掲示される。

※手押しでグリッドへ着くことは認めない。ピットレーン出口解放中に自走でコースインできなかった場合はピットスタートとする。

19条 順位の決定

1. 優勝者は定められた周回数を完走して、各クラスで最初にコース上のコントロールラインを通過したライダーとする。
2. 優勝者以下の順位は、周回数とコントロールライン通過順で決定する。
3. 決勝レース中のタイムがクラスの基準タイムよりも速い場合には表彰及び賞典の対象外とする。

20条 表彰・賞典

決勝レース終了後、各クラス上位3名のライダーに対して表彰を行うものとする。また、賞典として各クラス優勝者に対してのみ、トロフィーを贈呈致します。

21条 レースの延期及び中止

競技は天候・異変その他安全確保に支障をきたす恐れがある特別な理由がある場合に限りその一部を短縮又は中止する場合がある。その場合に判断及び決定の一切を競技役員に委ねるものとする。



22条 チャンピオンシップ2025

1. 2025年1月1日~2025年12月31日の期間中に行われる本レースにおいて、決勝レースの結果に対して【チャンピオンシップポイント(以下、ポイント)】を付与する。
2. 初戦から最終戦の各レースにおいて付与されたポイントを合計し、ポイント数が多い順に順位を決めるものとする。
3. 最終戦の表彰時に各クラスの合計ポイント上位3名のライダーに対して表彰を行うものとする。また、賞典として各クラスの合計ポイント上位3名に対して盾を贈呈致します。
4. チャンピオンシップの優勝者は、MOTOR STATION TVのヒーローインタビューをスタジオで行う権利が与えられる。
※ただし、撮影日等はMOTOR STATION TVと相談の上で決定されるものとする。
5. 上位3名のライダーは、翌年(2026年)に行われる2525GPに参戦する場合には、チャンピオンシップの上位者とわかるように順位と同じ番号のゼッケンの使用权を与えるものとする。
※ただし、ゼッケン番号が同じにならないようにC/Sツイン・F3・ZX-25Rチャレンジ・シングルの順で使用するには優先権があり、G/Bツイン及びC30には使用权は与えられないものとする。
6. 選手に対してポイントを付与するが、チャンピオンシップは各クラス間での総合ポイント争いとなるため、第二戦目以降で大会運営事務局が決める基準タイムにより、クラスが変更となった場合にはポイントの引き継ぎはできないものとします。
7. 付与されるポイント数やポイントが付与される際の注意事項は以下の通りとする。
■付与されるポイント数(全クラス共通) ※十一位以下のポイント付与はございません。
優勝:10pt 二位:9pt 三位:8pt 四位:7pt 五位:6pt
六位:5pt 七位:4pt 八位:3pt 九位:2pt 十位:1pt
8. 「19条の順位決定の3」で対象外となった選手へのポイントの付与もございません。

23条 お見舞い金制度について

クラッシュ転倒その他で負傷してしまった場合、お見舞金が支払われます。対象は走行される参加者のみ、応援・観戦やお手伝いとして参加される方々対象外となりますので、予めご注意ください。そのため、パドックでの車両移動に関しては、動かす側も勿論のこと、当日会場にいる全員が注意して行動していただくようお願い致します。

なお、お見舞金の設定は以下の通りです。

通院:650 円/日 入院:2,000 円/日 死亡:200 万円(最大)

※但し、お見舞金の対象となる治療期間は、事故日から 180 日以内となります。

※お見舞金の設定内容に不安のある方は、別途ご自身で傷害保険等にご加入されることをお勧め致します。

・サーキット設備損壊・消耗の場合

サーキット設備を破損させてしまった場合、例えばガードレールに突っ込んでしまったり、トランスポンダーを落として壊してしまったりなど。火災の際に使用する消火器もこれに当たりますが、何らかの事故により損壊・消耗した設備を回復させるのにかかる費用は、当事者へのご請求となりますので、予めご承知おきください。なお、代表的な諸設備の修繕費用は下記のとおりとなります。

○ガードレール(板)	60,000円/枚
○ガードレール(支柱)	40,000円/本
○トランスポンダー	50,000円/個
○消火器	5,000円/本
○オイルによる路面の汚損	1,000 円/10m ※各税別

24条 撮影映像・画像著作に関して

当イベントで取得した車載カメラ等の映像・画像に関する一切の著作権は主催者に帰属することと致します。

ただし、商用目的外でのSNSやYouTube等での個人使用する場合にはその限りではありません。なお、撮影されている参加者の方へは、主催者からの素材提供のご協力をお願いする場合がありますので、その際にご協力を何卒宜しくお願い致します。